


整理番号	HT28326	分野	医歯薬学	(キーワード)障害者理解、精神障害者
------	---------	----	------	--------------------

沖縄キリスト教学院大学

精神障害者・回復者雇用の重要性—医療・保健・福祉分野及び教職課程履修の上で—

先生(代表者)	近藤 功行(こんどう のりゆき)人文学部・教授			
自己紹介	<p>大学院博士課程在籍中、日本学術振興会特別研究員 DC・PD の沖縄県での採用第1号となりました。大学院生時代は、人類生態学・公衆衛生学をベースとした研究に関心を持っていました。特に、フィールドワークを基とした基礎的な研究です。その頃からずっと、終末期医療・ターミナルケア・在宅介護に関わる内容や終(つい)・死の場所に関して、与論島を通して調査研究を継続してきています。「沖縄の昔を見るみたいだ」と、沖縄から与論島にやってきたオジイ・オバアはそう語ります。何で、でしょう。「何でかねえ!？」。今回の研究紹介は奄美大島からが中心です。「何でかねえ!？」が、そもそも研究の走りです。探求を5年10年とやってゆくことで、この「何でかねえ!？」のいくつかが解明されるのではと考えます。セレンディピティ(serendipity)を、つかむことが大事です。今夏、1日だけのプログラムですが、一緒に体験をしましょう。そして、一緒に走ってゆきましょう。</p>			
開催日時・主な募集対象	平成28年8月13日(土)	(対象)	高校生	(人数) 30名
集合場所・時間	沖縄キリスト教学院大学 SHALOM 1-2 教室	(集合時間)	10時15分	
開催会場(集合場所)	<p>沖縄キリスト教学院大学 住所: 〒903-0207 沖縄県中頭郡西原町字翁長777番地 アクセスマップ: http://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/kotu_map.htm</p>			
内 容				
<p>今回実施しますプログラムは、担当者(=近藤功行)の所属する大学への進学目的となるものではありません。これから、県内外の医療・保健・福祉分野を目指す皆さんを対象に募集をはかります。また、大学入学後、小・中学校の教員免許を取得する上で、介護等体験の実習科目を履修します。ここでは、身体・知的・精神障害者のことを学ぶことになります。そのため、医療・福祉・保健系に進学した後で、大学院進学を考えている皆さん、また教員免許を取得することになる皆さんにとって、入学した大学でも障害者理解・障害者雇用のことは学ぶ機会はあるかもしれませんが、奄美大島からの外来講師をお招きして、琉球弧の1離島の障害者施設設立に至る経緯などを知る機会は、ここでしか味わえません。医療福祉の神髄を学ぶこととなります。夏休み始めの1日、このプログラムに費やしてみたいかがでしょうか。実施にあたっては、受講生の皆さんが、将来、研究&教育を目指すこと、大学院で学ぶ場合も想定しています。なお、本プログラムに関心のある方のお越しは歓迎します。担当者は、医学系の学会に関わっています。学問的にも、障害者就労はとても大事であると考えています。皆さんがこのプログラムに参加した際、1つの記念になるようにある絵を描いてもらったりもします。こうして、本企画に参加したことが心に残してもらえれば幸いです。無事プログラム終了となった後、当日の流れを書いた冊子をつくり、参加して下さった皆さん1人1人に配布します。当日出た質問も、この中で回答しています。こうした記録をつくる目的は、この年の1つの行事への参加記録にいただき、人生の中でまた振り返ってみて欲しいです。そのお手伝いを、「何でかねえ~」から始まる研究ですが、研究とは何か、皆さんと夏の1日をご一緒し、取り組んでゆきます。 ※本プログラムは、奄美大島の実態、情報伝達を限った時間で伝えたいため「講話」形式となっています。しかし、最大限、対話重視の「講話」を実施者並びに恵川龍一郎所長とで目指してゆきます。また、当日配布する資料、実施後に皆さんの質問に答える追加資料などを作成し、皆さん1人1人にお届けします。ここでは、学習のふりかえの場も設定しています。こうして、実りある1日になるよう、実施者でも努めてゆきたいと考えています。</p>				

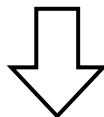
スケジュール		持ち物
10:15	集合確認(受付にて)。資料など配付。	筆記用具、ノート
10:30～10:45	開会宣言。担当者挨拶(予定可能であれば、学長挨拶)。お手伝い学生 & スタッフ紹介。プログラム内容の紹介。「科学研究費(科研費:カケンヒ)」の説明について(研究代表者:近藤功行から)	
10:45～11:00	用意した用紙(A4 版 1 枚)に絵を書いて貰う。①今と将来を結びつける内容、②障害者と健常者(=この用語に関しては「障害者」に対する用語として説明する)をイメージする絵。	特記事項 ① 本内容に関する予備知識は、まったく不要です。 ② 開催校(沖縄キリスト教学院大学または沖縄キリスト教短期大学)への受験とは全く関係のない、受講者の進路にあわせた日本学術振興会実施のプログラムです。
11:00～11:10	(休憩)	
11:10～11:55	近藤功行談話:科学研究費で目指したもの・目指しているもの。科学研究費獲得の重要性と今回、紹介したい研究から。	
11:55～13:00	(お昼休み:弁当・御菓子支給)	
13:00～13:45	恵川龍一郎所長の講話:精神科病院と精神障害/回復者小規模作業所、こうした精神障害者(回復者)の就労の重要性を奄美大島から発信する視点	
13:45～13:55	(休憩)	
13:55～14:40	近藤・恵川所長講話:精神障害者(回復者)理解はなぜ必要なのか。	
14:40～14:50	(休憩)	
14:50～15:30	総括。受講者の皆さんからの感想や意見発表。午前中実施の①②の絵の解説(①=恵川龍一郎所長、②=近藤功行、から)。	
15:30～15:45	今回の企画に関するアンケート記入時間(トイレ休憩可)	
15:45～16:00	『未来博士号』の授与(受講者1人1人に手渡し)	
16:00～16:10	会場内の後片付け(みんなで)。プログラム終了宣言(主催者:近藤功行)。解散。	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	沖縄キリスト教学院大学 企画推進課 金城 太(きんじょう ふとし)
住 所 :	沖縄県中頭郡西原町字翁長777番地
TEL 番号 :	098-946-4161
FAX 番号 :	098-946-1241
E-mail :	kikaku@ocjc.ac.jp
申込締切日 :	平成 28 年 7 月 22 日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
近藤功行	H17-18	基盤研究(C)	17590465	精神障害者、回復者の就労をめぐる医療社会学的研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。